

校長通信(第4号)

令和7年9月2日
東京都立田無高等学校
校長 長嶋 浩一

令和7年度 二学期始業式 校長講話

— 大切にしてもらいたい五つのキーワード —

皆さん、おはようございます。この夏休みはいかがだったでしょうか。3年生は英検S-CBTの受験や進学に向けた志望理由書の下書き、夏期講習、部活動最後の公式戦等、様々な場面で力を尽くしてきたことでしょうか。また、七つの運動部と一つの文化部は合宿を実施しました。それぞれ、技術の向上や人間関係の構築等、大きな成果をあげたことでしょうか。

始業式終了後には表彰を行います。この夏は男子テニス部が都公立大会で準優勝、1, 2年生のチームは関東公立大会で準優勝という素晴らしい結果を挙げました。女子テニス部もテニス連盟主催の大会の予選で団体優勝、本戦でも3位の好成績を挙げました。また、女子バレーボール部は夏季大会でブロック優勝しました。さらに、水泳部や陸上競技部もそれぞれ多くの選手が入賞しました。

それだけではありません。御存じのように、本校野球部は4回戦で甲子園で準優勝した、日大三高と対戦する貴重な機会を得ることができました。野球部だけではなく、吹奏楽部やダンス部も猛暑の中、頑張ってくれました。ダンス部や吹奏楽部はその後自分たちの発表会にも参加し、立派な結果を残してくれました。

今日から2学期が始まります。78日間という最も長い学期ですが、皆さん一人一人が目標をもち、充実した日々を過ごしてくれることを願っています。

さて、今日は皆さんに、これからの学校生活や将来に向けて大切にしてもらいたい五つのキーワードを紹介したいと思います。

1 Try and Challenge (挑戦する勇氣)

新しいことに挑戦するのは、誰でも不安を感じるものです。でも、挑戦しなければ成長はありません。小さな一歩でも構いません。「やってみよう」という気持ちが、未来を切り開く力になります。

失敗は、挑戦した証です。失敗を恐れず挑戦する人には、必ず「学び」があります。ぜひこの2学期、何か一つでも「新しいこと」に挑戦してみてください。

2 Change (変化を受け入れる力)

社会は常に変化しています。新しい技術、価値観、環境。その中で大切なのは、変化を恐れず、柔軟に対応する力です。

変化は、時に不安を伴いますが、変化を受け入れることで、自分の可能性が広がっていき

ます。皆さんの中には、進路や人間関係に悩む人もいるかもしれません。そんな時こそ、「変わることを前向きに捉えてみてください。

3 相互尊重と協力・協調

「徳不孤、必有隣（とくはこならず、かならずとなりあり）」という言葉があります。

この言葉は、中国の思想家・孔子の『論語』に由来し、「徳のある人は孤立することなく、必ず理解者や協力者が現れる」という意味です。学校教育や人間関係の中でも非常に大切な価値観ですね。

皆さんが思いやりを持って行動すれば、必ず誰かがそれを見ていて、支えてくれます。学校生活の中には、友達や先生、部活動の仲間など、様々な人と関わる機会があります。互いを尊重し、協力し合うことで、より良い関係を築いていくことができるのです。

4 多様性の理解

私たちはそれぞれ異なる価値観や背景を持っています。違いを否定するのではなく、理解し、受け入れることが大切です。

例えば、クラスメートの考え方が自分と違っていても、それを「間違っている」と決めつけるのではなく、「そういう考え方もあるんだ」と受け止める姿勢が、多様性の理解につながります。

学校は、様々な人と出会い、学び合う場所です。違いを認め合うことで、皆さん自身の視野も広がります。

5 英語力への挑戦

1・2年生の皆さんは、11月に英検S-CBTを受けることになっています。

これは、外部の公開会場でコンピュータを使い、1日で「読む・聞く・話す・書く」の4技能を測る試験です。9月上旬、間もなく受付が始まります。

すでに3年生の皆さんは、進路活動を前に、果敢に準1級や2級等に挑みました。今度は1・2年生の番です。これまで培ってきた英語力を試し、将来につなげていくようにしてください。

英語は、世界とつながるための大切なツールです。ぜひこの機会を前向きに捉え、Try and Challengeの精神で取り組んでください。

この2学期には、文化祭や部活動の新人戦、校外での諸活動等、様々な学びの機会があります。ぜひ「挑戦」「変化」「協力」「理解」「努力」を意識して、前向きに過ごしてください。皆さんの成長を心から楽しみにしています。